

*前期比：D I・季節調整済

景況

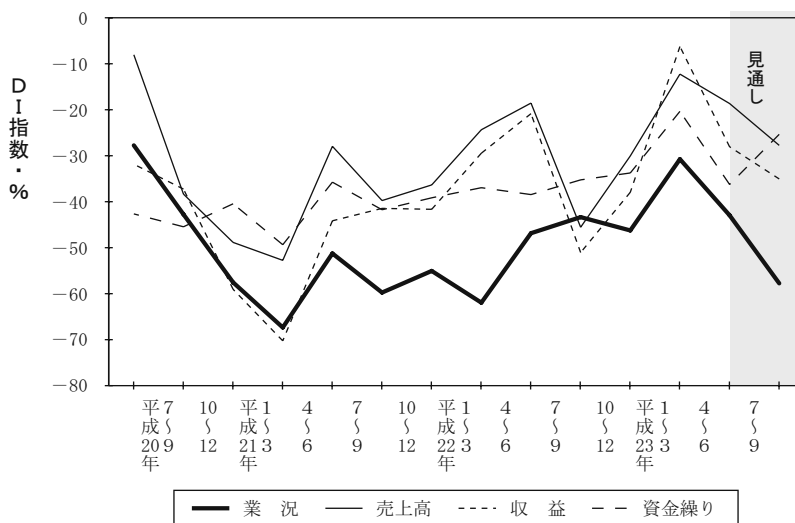
今期の業況判断DI値は-43と前期の予想DI値を13ポイント、実績DI値に比べると12ポイントそれぞれ悪化する結果となりました。売上、収益、資金繰りは、震災直前まで2期連続で改善していましたが、ともに今期は後退しました。設備投資については、前期に比べ9ポイント増加し、機械設備の新・増設、機械設備の更改を中心に23%の先が実施しました。

来期の予想業況判断DI値は-58となり、更に今期の業況判断DI値を-15ポイント悪化すると予想しています。売上並びに収益は後退すると予想していますが、資金繰りについては、11ポイント改善すると予想しています。設備投資については、1ポイント増加し、機械設備の更改を中心に24%の先が実施を予定しています。

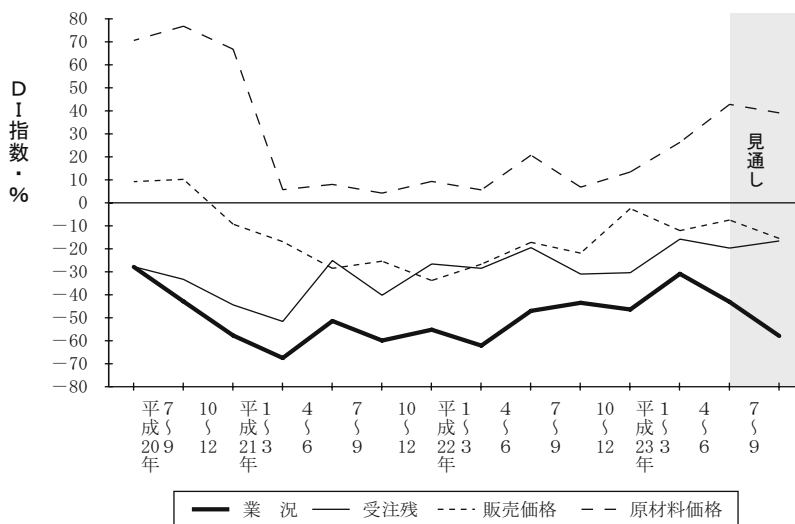
調査員のコメント

- 震災の影響により、観光客が減少したため売上が伸びなかった。
(土産物製造業)
- 震災の直接的な被害はなかったものの受注キャンセルが相次ぎ、昨年同期比の売上を大きく下回った。
(印刷業)

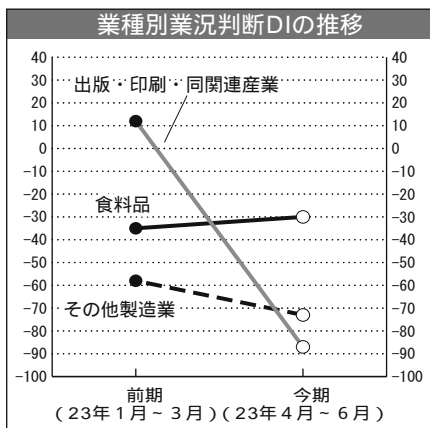
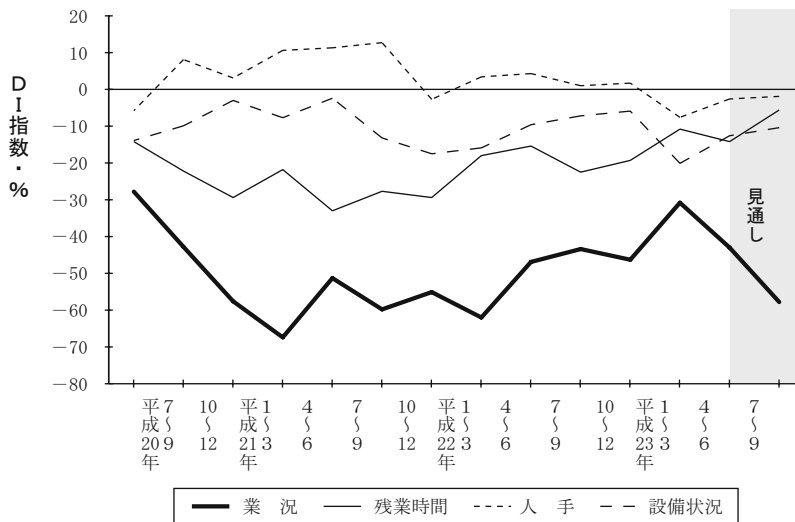
景況の推移



主な指標の動き



残業、人手、設備状況



経営上の問題点		
1位	売上の停滞・減少(1)	70%
2位	同業者間の競争の激化(3)	22%
3位	大手企業との競争の激化	10%

当面の重点経営施策		
1位	販路を広げる(1)	59%
	経費を節減する(2)	59%
3位	情報力を強化する(3)	29%

* ()は前回順位